

2018年5月期 第1四半期 決算概要

- 人材紹介事業やインソーシング事業の伸長を中心に、すべてのセグメントで増収となり、売上高は72,458百万円（前年同期比+4.7%）
- グループ総合拠点への移転に伴う費用等の一時的な発生があったが、各事業の増収に伴う利益増と、退職給付費用の負担減等により、営業利益は1,033百万円（同+378.9%）経常利益も1,006百万円（同+476.5%）と大幅拡大
- NTTグループの人材サービス会社のM&Aによる負ののれん発生益を特別利益に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は533百万円と大幅な増益

1. 第1四半期連結業績（2017年6月1日～8月31日）

（百万円）

	2017年5月期1Q	2018年5月期1Q	増減	増減率
売上高	69,231	72,458	+3,227	+4.7%
売上総利益 (売上比)	13,372 19.3%	15,256 21.1%	+1,883 +1.8pt	+14.1%
販売費及び一般管理費 (売上比)	13,156 19.0%	14,222 19.6%	+1,066 +0.6pt	+8.1%
営業利益 (売上比)	215 0.3%	1,033 1.4%	+817 +1.1pt	+378.9%
経常利益 (売上比)	174 0.3%	1,006 1.4%	+831 +1.1pt	+476.5%
親会社株主に帰属する四半期純損益 (売上比)	△539 -	533 0.7%	+1,072 -	-

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	37,172	+793	+2.2%	851	+471	+124.0%
インソーシング（委託・請負）	19,449	+1,274	+7.0%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	1,580	+38	+2.5%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	1,724	+188	+12.3%			
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	4,004	+618	+18.3%	670	+563	+525.9%
アウトソーシング	7,775	+296	+4.0%	1,184	+50	+4.5%
ライフソリューション	1,250	+134	+12.0%	49	+8	+20.6%
パブリックソリューション	462	+70	+18.0%	△124	+16	-
消去又は全社	△961	△187	-	△1,597	△292	-
合計	72,458	+3,227	+4.7%	1,033	+817	+378.9%

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	幅広い業種で受注が増加し、経理、外国語、IT系などの専門事務を中心に多くの職種が伸長。事務の定型業務はインソーシングへの移行を推進。NTTグループの人材サービス会社4社の事業譲受は8月の1ヶ月、子会社化の2社は2Qから業績寄与。
インソーシング	民間企業でのインソーシングの活用が進む。ビーウィズ(株)、パソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)も売上伸長。パブリック分野では行政事務代行が引き続き好調。
グローバルソーシング	人材紹介、人材派遣、請負のすべてで増収。特に北米やインドネシアのDGS*1が、派遣を中心に伸長。ベトナムでも日系企業から技術者の需要が増加し、インドも順調に推移。
キャリアソリューション	人材紹介はメーカー、IT、金融を中心に全業種で伸長。再就職支援は底打ち感。
アウトソーシング	福利厚生事業は導入企業数が増加。報奨金等をポイント化し管理運営するインセンティブ事業も順調に推移。新規顧客との取引も増加。ヘルスケア事業も想定どおり推移。

※1 PT. Dutagriya Sarana（デュータグリア サラナ）

3. 財政の状況

(百万円)

	2018年5月期 1Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	64,098	△519	△0.8%	有形固定資産の増加 2,127 百万円等
固定資産	32,678	+2,712	+9.1%	
資産合計	96,777	+2,192	+2.3%	
流動負債	48,530	△1,281	△2.6%	長期借入金の増加 2,531 百万円、 未払費用の増加 2,321 百万円、 買掛金の減少 2,716 百万円等
固定負債	20,638	+3,927	+23.5%	
負債合計	69,168	+2,646	+4.0%	
純資産合計	27,608	△453	△1.6%	親会社株主に帰属する四半期純利益 533 百万円、 非支配株主持分の減少 530 百万円、 配当金の支払 447 百万円等
自己資本比率	19.8%	△0.4pt		

4. 2018年5月期（2017年6月1日～2018年5月31日）連結業績予想

当第1四半期の業績は、利益面では前年同期に比して大幅な増益となりましたが、経費の計上時期ずれ等により利益が前倒しで出ていることから、2017年7月14日に公表した業績予想を据え置きます。

(百万円)

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	通期	前期比
売上高	154,620	+13.0%	168,680	+17.5%	323,300	+15.3%
営業利益	1,240	+56.0%	4,410	+19.4%	5,650	+25.9%
経常利益	1,190	+56.7%	4,410	+23.9%	5,600	+29.6%
親会社株主に帰属する 当期純損益	△500	-	1,500	+118.4%	1,000	-%

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは <http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。